

月刊 アカサス ニュース

第24号 1998(平成10年).5

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアサミ」)です。

総合移転第 期計画事業の くわ 鍬入れ式・起工式を行う

トップニュース Top News



期着工を象徴する鍬入れ式の模様
= 4月18日、本部棟前の総合移転第 期計画事業用地で



起工式で祝辞を述べる森喜朗衆議院議員
= 4月18日、大学会館食堂で



佐々木正峰文部省高等教育
教育局長



まさつ
勝山正嗣文部省文教施設
部長

総合移転第 期計画事業の鍬入れ式と起工式が4月18日に挙行された。このうち起工式は、森喜朗衆議院議員、佐々木正峰文部省高等教育局長、勝山正嗣文部省文教施設部長をはじめとする約130人の関係者の出席を得て盛大に行われ、薬学部、工学部、がん研究所などを迎える理工系新キャンパスの新たな発展を祈念した。



鍬入れ式であいさつする岡田晃学長
= 同左





巻頭言

新しい病院への思い



医学部附属病院長
渡邊 洋宇
(医学部教授)

念願の宝町地区の再開発計画の第一段階として、本年度から新病院の病棟第一期工事が始まることになりました。がん研究所附属病院と統合し、10階建て、832床の新病棟が完成するのは、第一期、第二期工事を合わせて5年後の予定であり、これに中央診療棟、外来棟を加え、病院全体の完成は約10年後の計画であります。

新病院の基本理念としては、高次医療機関としての機能強化、人間性を重視した質の高い医療の実現、地域医療への貢献、そして診療及び事務機能の効率化などをうたっております。今や、次世紀へ向けて医療、医学教育は大きく変革しつつあります。本学は日本海側の基幹大学としての重要な使命があり、附属病院も医学生の卒前・卒後教育、専門医・専門技術者の育成、さらには最先端の医学研究など、その果たすべき役割は極めて多岐にわたります。新病院は学際的協力での医療及

び教育研究体制を確立し、診療・教育・研究が一体となったバリアフリーホスピタルを目指しております。

病棟は現在行われている埋蔵文化財の発掘調査が終了次第、近々着工の予定です。今後は、中央診療棟、外来棟の企画・設計を行う必要があります。医学は正に日進月歩であり、次世紀に向けて臓器移植、遺伝子治療など次々と新しい医療が始まる一方、各大学に救命救急センターを設置するよう要請されております。さらには諸外国で定着している日帰り手術部門(day surgery)を設置することも教育病院の機能として必要があります。

宝町地区に医学科、保健学科も含めた再開発が完成し、偉容を誇る、大メディカルセンターが聳え立つ日を夢見る時、心踊る気がします。

華西医科大学(中国)側も
協定書に署名

華西医科大学(中国・成都市)では、4月2日、村上清史教授(がん研究所)が持参した協定書(本学岡田晃学長が署名完了分)に張肇達学長が署名をし、同大学は、正式に本学12番目の大学間交流協定大学となった。



本学側の署名の記事は
前号で紹介

調印式の後、握手を交わす華西医科大学の張学長(左)と本学の村上教授 = 4月2日、華西医科大学基礎医学部特別会議室で





2,011人が期待を胸に入学

4月7日、金沢市観光会館で「平成10年度入学宣誓式」が挙行され、学部・専攻科・別科の新入生計2,011人が、これからの学生生活に期待を膨らませて新しい第一歩を踏み出した。

式では、岡田晃学長が昨春のユネスコの報告書に触れ、「知識を実践に結びつけることが学習の基本である。」とお祝いの言葉を贈り、新入生代表の赤尾浩さん(法学部)が「学生としての本分を尽くします。」と宣誓した。また同日、別会場で、大学院と医療技術短期大学部(専攻科)の“入学式”も行われた。



新入生を代表して宣誓する赤尾さん
=4月7日、金沢市観光会館(金沢市下本多町)で

ドンア

東亜大学(韓国)と国際交流協定を結ぶ

本学として13番目の締結



調印の後、握手を交わす李太一東亜大学総長(右)と岡田晃学長
=4月16日、事務局特別会議室で

本学では、4月16日、^{ドンア}東亜大学(大韓民国・釜山^{プサン})から^{イテイル}李太一総長らを招いて、大学間交流協定の調印式を行った。本学としては、13番目の交流協定大学となる。

東亜大学については、6ページに紹介



協定文書に署名をする両学長
=同左



金沢大学名誉博士称号を授与 第2号はロンドン大学のブラウン教授

4月6日、英国ロンドン大学医学部のデイビット・アンソニー・ブラウン教授が本学2人目の「名誉博士」として岡田晃学長から博士記と記念品を受け取った。

同教授は、本学の国際交流の進展に貢献したことが評価され、今回、名誉博士に認定された。なお、同教授は平成4年から7年にかけて、本学の非常勤講師も務めた。



岡田学長から名誉博士記を受けるデイビット・アンソニー・ブラウン教授(左)
= 4月6日、事務局特別会議室で



関係教職員との記念写真
= 同上

あけがらす 「第49回暁烏記念式・ 記念講演」を開催

毎年恒例となっている“暁烏記念式”が4月28日、附属図書館で催された。第49回を迎える今回は、浄秀寺住職の藤原正洋氏が「先達・暁烏敏と祖父・鉄乗；その出会いと交流」と題して講演を行い、集まった多くの教職員らが熱心に聞き入った。



記念講演を行う藤原住職
= 4月28日、附属図書館AV室で

青空の下 新婚カップル100組が 植樹

4月29日のみどりの日、角間キャンパス「ふれあいの杜」で、「平成10年度新婚記念植樹」(主催(財)森の都金沢緑化協会)が行われた。当日は、好天に恵まれ、初々しい新婚カップルは力を合わせてコブシの木100本を植えた。



新婚カップルの代表も加わって行われたシンボル樹の植樹
= 4月29日、角間キャンパス内の「ふれあいの杜」で





医学研究科（分子情報医学系専攻） “入学宣誓式”を挙行

医学研究科に新設された分子情報医学系専攻の入学宣誓式が、4月27日、事務局特別会議室で執り行われた。同式典では、岡田晃学長からの告辞に続いて、入学者代表の王卓さん（オウタク 細胞遺伝子学）が「院生としての本分を自覚し、学術の研鑽（けんざん）に精励します。」と宣誓した。



力強く宣誓する王卓さん
= 4月27日、事務局特別会議室で

“語学研修”開講式を行う

4月27日、事務局大会議室で“語学研修”の開講式が行われた。この研修は、国際化に対応した職員の語学能力向上を主目的に開講しているもので、受講者のレベルに応じてコースが設けられている。また今年度は、“話す”だけでなく“書く”こともできるように新たに英語文書作成コースが開設された。



研修に当たっての心構えを話す吉田真言（まこと）庶務部長
= 4月27日、事務局大会議室で

「キャンパスクリーン事業」を実施



不用物品などの廃棄作業の様子
= 3月30日、角間キャンパスの南部課外活動共用施設前で

本学は、4月に新入生を迎えるに当たり、各キャンパスで大がかりな清掃を実施した。

新入生にクリーンなキャンパスで希望あふれる学園生活を送ってもらおうと、空き缶・ごみの回収、不用物品の廃棄、汚泥の除去などを行ったものである。これからも、学生・教職員の美化意識の高まりが期待される。



池の汚泥の除去作業の様相
= 同左、角間キャンパスメインアプローチで



おおひら

大平事務官、 法学研究科で勉強中!

庶務部企画室のおおひらみさと事務官は、このほど本学法学研究科に入学した。現在、大平さんは、鴨野幸雄教授の下で「一国二制度下における香港の自治と人権」について研究を行っているが、上司や同僚の応援に対し、「職場の人たちの理解に心から感謝します。」と述べ、本学の事務職員と大学院生の2足のわらじを履いて奮闘している。



「国際政治特論」の授業に臨む大平さん(写真中央)
= 4月24日、法学部李炯喆教官研究室で

ひきやままつり

輪島曳山祭に マンドリンクラブが初出演

学生サークルのマンドリンクラブは、4月5日に行われた輪島曳山祭の宵宮祭(前夜祭)の舞台に10名が出演し、「もののけ姫のテーマ」、「川の流れるように...」など6曲を演奏した。この祭は、奥能登輪島に春を告げる祭として輪島市民に古くから親しまれており、マンドリンクラブの出演は、今回が初めてである。物珍しさも手伝って多くの観客が集まり、清らかなマンドリンの音色を楽しんだ。



演奏を披露するマンドリンクラブの面々
= 4月5日、重蔵神社境内(輪島市河井町)で



国際交流協定締結大学(その10)

ドンア 東亜大学(大韓民国)

[1998.4.16協定締結]

東亜大学は、1946年に創設され、現在、6大学院、11学部、28附置研究所、1附属病院からなる私立の総合大学で、学生数は約26,000人、教員数は約500人である。

同大学は、2つのキャンパスを釜山に有しているが、西暦2007年には、同市に3つ目のキャンパスを整備完了させ、総敷地面積を230ヘクタールとする計画を進めている。

また、同大学は、既に9か国20大学・機関と国際交流協定を締結しているが、我が国の国立大学との大学間協定としては本学が初めてである。



夕暮れ時の東亜大学校舎(ユニバーシティセンター)を望む
(同大学パンレットから)





春の叙勲受章の方々(本学関係分)

4月29日、平成10年度春の叙勲受章者が発表され、本学関係では、次の5名の方々が栄えある叙勲を受章した。



勲三等旭日中綬賞
まえだ たいほ
前田慶穂 氏
(名誉教授,
元法学部教授)



勲三等瑞宝賞
おあた ごろう
太田五六 氏
(名誉教授,
元医学部教授)



勲三等瑞宝賞
きど けいち
木戸喜一 氏
(名誉教授,
元教養部教授)



勲三等瑞宝賞
ひがし まさこ
東 正子 氏
(名誉教授,
元教養部教授)



勲六等宝冠賞
つる はるみ
鶴 治美 氏
(元医学部附属病院
看護婦長)

金子曾政・寺田喜久雄 両名誉教授が石川テレビ賞を受賞

本学の名誉教授2名に石川テレビ賞が贈られることとなった。贈呈式は、5月22日。金子氏は、学長として総合移転などに尽力し、また、高分子化学の研究に成果を挙げたことが、寺田氏は、環境中の超微量有害成分の分析機序に関する研究に成果を挙げたことなどが評価されたものである。



金子曾政 元学長



寺田喜久雄 元理学部長

平成10年度 大学公開講座の日程決まる

- 学内講座
- 「健康という宝物を守るために」(10.5.9~8.1, 全12回) 定員: 50名
 - 「運動療法学概論」(10.5.13~6.17, 全6回) 定員: 50名
 - 「コーヒー学入門 - おいしく飲むための基礎知識 - 」(10.5.16~10.1, 全8回) 定員: 1会場100名
本講座は7大学連合遠隔共同講義です。最新の設備SCS(スペース・コラボレーション・システム)により、テレビ受像機を通じて同時に各大学で受講できます。
 - 「NPOマネジメント」講座(10.6.5~7.10, 全6回) 定員: 30名
 - 「計算科学最前線」(10.10.17~11.28, 全7回) 定員: 50名
 - 「子どもの発達問題と養育環境」(11.1.6~2.17, 全7回) 定員: 50名
 - 「スイス(学)の魅力」(11.1.23~2.27, 全6回) 定員: 50名
 - 「がん予防の食事学」(11.2.13~3.13, 全5回) 定員: 50名

放送講座(ラジオ) 「21世紀に向けての法 - 生活に役立つ法 - 」(9月~12月)

放送講座(テレビ) 「21世紀日本への展望 - 社会・環境・医療 - 」(9月~12月)

申込み・問い合わせ先...金沢大学大学教育開放センター(264-5272~3)

編集後記

3月の新附属病院の起工式に続き、4月には総合移転第一期計画事業の起工式が挙行された。中国の華西医科大学と韓国^{ドンア}の東亜大学が立て続けに交流協定大学となり、また、春の勲章や石川テレビ賞のニュースなど、大学にとって喜ばしい出来事を数多くお伝えできて、うれしく思う。

黄金週間が終わわり、次は何を楽しみにしようかを考えてし

まうが、減少傾向とはいえ多くの家族連れが海外旅行をしたようだ。昔の「事務通報」には教官の外国出張と海外研修がすべて目的まで書かれていたが、いつしか日常茶飯事^{さはんじ}のとなり、姿を消してしまった。今更ながらなのかもしれないが、先生方には、「学問に国境なし」のとおり、各専門分野で世界を相手に闘ってほしい。(池端)



空から見た我がキャンパス

その よないずみ 米泉キャンパス (0.8ha)

(平成9年5月撮影)



よないずみ 米泉小学校上空から ふしみ 伏見川を右手に米泉キャンパスを望む
本キャンパスにあるがん研究所附属病院は、近い将来、宝町キャンパスの再開発に合わせて、医学部附属病院との統合が予定されている。

みどりの日 「新婚記念植樹」スナップ



“みどりの都市宣言”をする参加者代表
= 4月29日、角間キャンパス「ふれあいの杜」で



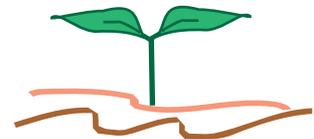
すくすく育つよう願いを込めて!
= 同左



昨年に引き続いて熟年カップルも!
= 同左



2人で植えます! 記念の1本。
= 同左



(関係記事は4ページ)

平成10年5月15日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称 “KUPIS” (キュービーズ) 」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

